

部会報告

ふれあい部会報告 龍村敦子

昨年は葉山町堀内地区で実践している有償サービス「たすけあい隊」の話聞きに行った時にはまだふれあい部会ももぞもぞと動き出したばかりであり、有益な材料は手にしたものその有効活用までには至らなかった。今年度5月15日に葉桜自治会で数十年活動している「葉桜福祉センター」の見学を実行するにあたりリーダーであ

減災部会報告 金子春夫

<出席者> 鈴木(昌)、鈴木(為)、鈴木(友)、中村、新倉、森田、森戸、金子

<開催日時・場所> 4月27日(土) 10:00~11:50 久木会館

1. 全体地図について

鈴木(為)委員が作成し、わかりやすく色づけした久小学区の全体地図を基に意見交換をおこなった。

前情報提供を依頼した、公衆電話、AED設置場所、指定井戸、市の掲示板などは概ね表示がなされた。避難場所など場所をわかりやすくするため、地名や施設名を表示することとした。

2. 詳細地図について

以前災ボラが作成した、地域別の詳細地図を印刷し次回の部会で各委員に配布し、地域住民と街歩きをする際に使用することとした。各自治会・町

編集後記

5月もあと僅か、6月の梅雨が明けると夏となり、季節の移り替わりは早いものです。私も今期より鈴木事務局長より同職を引き継ぎ新たなスタートを迎えようと身の引き締まる思いです。地域の抱える課題は多く多様化する地域ニーズに対応するためには、従来の行政サービスで対応できず、住民・地域組織、行政が力を合わせ、地域の問題を解決して行くことが求められています。高度成長を支えてきた人々も高齢化し、独立した子供達の多くは住職接近で都会に移り共働きの世帯が増え、核家族は崩壊し高齢化した夫婦が増加、共働き世帯でも地域に残された子供達とどの様に向かい合うか、社会の在り様、社会構造の変化の対応から地域の在りが問われています。一方で地域の担い手である自治会も高齢化が進み、一般的に自治会を支える役員も固定化し自治会自体の活性化も重要な課題となっています。住民協は地域を包括する組織として行政、市民、地域組織と知恵を結集して地域の問題解決を図り、自治会を下支する組織として機能することが求められています。事務局として役に立つ組織として皆様と力を合わせ新たな思いで挑戦して行きたいものだと感じております。

(久木小学校区住民協自治協議会事務局長 石井達郎)

る杉浦さんへの質問をまとめる時間を部会でもった。山の根、久木地区でのケーススタディをふまえているので、質問内容も部会員からスラスラ出てくるのは具体性をもってふれあいサービスのことが考えられるようになった証明と思われる。ふれあいサービスを定着させるためにかなり突っ込んだ質問をするので、この福祉センターでの集会后、今年度の活動の指針が決まってくるはずである。部会員自身も期待するところだ。

2019, 4, 24実施

4月30日報告

内会で街歩きをお願いする住民の選出について論議し、その決定のもとに地図の修正や危険箇所の追加等をおこなうこととした。

3. スケジュールについて

久木1丁目、2丁目をモデル地区にして先行して街歩きをし、必要な情報を詳細地図に記入する。事前に目的やチェック項目を明確にし、参加者全員に共有してもらおう。次回の部会でこの実施結果をふまえて、課題や問題点を洗い出し、整理したうえで各地域の街歩きをおこなう。

詳細地図を完成させ全体地図に必要な情報を反映させる。

この作業を来年1月までに終了し、全体・詳細地図の完成に繋げる。

4. 上記内容を、5月4日の住民協役員会で発表するとともに、各地域の自治会・町内会に協力をお願いする。

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

住民協ひろば

第26号 (準備会から通算第47号)

発行日 令和元年6月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

・ ・ ・ 2019年度総会特集 ・ ・ ・

令和元年5月度役員会

令和元年5月2日(土)13時30分~15時20分、

久木会館で18名(うち役員13)参加し、開催されました。主な議題は以下の通りです。

(1) 事務局からの連絡

4月26日(金)、久木会館にて「みんなの食堂」が開催され、参加者104名(他地域参加が24名)となった。ゴールデンウィーク直前であったにも関わらず多数参加、活動が根付きつつあるのではとの報告がありました。

②4月20日の総会の総括報告が鈴木前事務局長より行われました。

(2) 審議事項

①事務局より2名の退会届を受理した旨報告があり、そのうち1名は組織代表者のため、代表変更の手続きをする様要請されました。

②総会時に次年度の計画・予算等は新役員が説明すべきとの指摘に対しては本会としては、総会終了をもって新役員に移行することとし、新年度の

③会館活性化プロジェクト第2回会合についての報告があり、当該事業の目的はA会館運営の活性化、収益力の向上、B住民協事務を委託し事務局の組織力の強化及び業務基盤強化を図ることとする。当事業の実施にあたり、推進チームを組成し業務委託契約を締結し当面6ヶ月を目途に会議を月1度招集し成果を目指すもので

計画、予算等も前年度の役員が説明する旨、規約に明文化することとしました。

③会長及び新に就任した役員：事務局長、会計、書記より所信表明がありました。また新年度に際し、各部長・事業代表より今年度の活動の力点について説明がありました。

役員会からのお知らせ

2019年度役員の変更について、自治会、組

織の代表者等で変更があれば、住民協事務局に6月の役員会までに連絡下さい。

2019年(平成31年)度総会

4月20日(土)、2019年度住民協総会が終了し、新しい年度の活動が始まりました。総会終了後間

1. 総会参加者、議決権者数

参加者総数 47名 地域から 36名

地域外(来賓・行政等) 11名

もない5月1日に、年号が平成から令和に変わり、そして久小校区住民協も前身の準備会の時から数えて5年目を迎えることになり、一皮むけた住民協に成長することが期待されます。

委任状 16名

議決権数(〃総数) 52(75)

2. 桐ケ谷市長からメッセージ

総会冒頭と懇談会席上、桐ケ谷市長から次の要旨の発言がありましたのでご紹介します。

- ◆神奈川県下で葉山町の一人当たりの医療はは26万円、逗子市は34万円、未病対策を重視。
- ◆市の職員の70%は市外から通勤している。自然

災害の65%は夜間、初動体制が総てである。

- ◆ふるさと納税の取組強化、空き家の有効活用
 - ◆市政運営の基本・・・「現場第1主義」「現場にこそ答えがある。」
- 尚、冒頭当住民協の取組について、謝意が表されました。

3. 2018年度活動報告

本部及び各部会長から報告がありましたが、主たる活動は本部として住民協ひろば（月刊及び年間特別号）発行による広報活動、ふれあい部会のふれあいサービス（地域での有償による助け合い活

動）の特定地域でのケーススタディ、子ども部会のみんなの食堂（期間の参加者計1254名）、まちのこそだち久木の地域での保育活動（期間預かり人数386名）等が挙げられます。

4. 2018年度収支決算

科目	予算	決算	説明
利子	0	2	
市からの交付金	451,845	450,845	前年度繰越金を含む
自主財源	297,324	352,644	住民協独自の資金、前年度繰越金を含む
みんなの食堂収入	219,715	309,806	前年度繰越金を含む。
ふれあいサービス対価	10,000	0	自主財源扱い
収入の合計	978,884	1,113,297	

支出

本部費	281,845	210,357	交付金より支出
部会費	30,000	10,000	同上
みんなの食堂費用	289,715	313,986	食堂会費収入、交付金の双方から支出
ふれあいサービス費用	80,000	0	ふれあいサービス対価、交付金の双方から支出
支出の合計	681,560	534,343	
次年度繰越金		578,954	内訳 交付金の繰越金 : 168,089 自主財源〃 : 352,645 みんなの食堂〃 : 58,220

5. 2019年度活動計画

基本的には、少子高齢化社会を迎えて、お互いさまの助け合いができる関係づくりを広げていく活動を進めていく。◆組織運営に関しては、久木会館の運営を見直し収益性を向上させ、それを原資として運営を組織化してより開かれたかつ円滑な運営を目指す。

◆ふれあい部会では、ふれあいサービスの継続発展のために、先行している近隣の町にある組織の活動を実見することを契機として、より広域に広げられるようにコーディネーターやサポーター

の設置・養成等基本となる諸件について検討を進める。健康維持に関する活動を広げる。◆子ども部会では、定着しつつあるみんなの食堂をより安定した形で運営できるよう施策を進める。部会の大きな方針としては既存の組織では補えない事柄について取り組んでいきたい。◆減災部会では、地域内の「互近助」の意識向上を図っていくことを基本とし、そのために地域住民が参加しての減災地図作り等の施策を進める。◆拠点部会では、会館利用団体の協力を頂き、会館改革プロジェクトと協働して、より良い会館を目指す。

6. 2019年度収支予算

収入

科目	予算	説明
交付金	983,089	前年度繰越金を含む。交付金は、組織運営経費・共通事業経費・地域づくり事業経費に類別されて、それぞれ用途が決められている。
自主財源	412,645	前年度繰越金を含む。
特別勘定A収入 （みんなの食堂）	388,221	前年度繰越金を含む。収入の主は会費収入
特別勘定B収入 （ふれあいサービス）	10,000	サービスの対価としての収入
合計	1,793,955	

支出

科目	財源	予算	説明
本部費1	交付金	473,089	通常の運営費用
本部費2	自主財源	412,645	会館改革プロジェクト費用200,000を含む
部会費			
特別勘定A	交付金	30,000	保険代
	自主財源	388,221	食材費用、会場費他
特別勘定B	交付金	190,000	事業開始にあたっての初期費用他
	自主財源	10,000	サービス対価に相当するサービス報酬
特別勘定C	交付金	30,000	防災啓発を行う費用
特別勘定D	交付金	30,000	新たに児童見守り活動を支援する費用
特別勘定E	交付金	230,000	地域の減災地図を作成する費用
合計		1,793,955	

7. 新役員

役員全員が任期満了となり、新たに次の方々が選任されました。

地位	氏名	所在・重要な担当	地位	氏名	所在・重要な担当
会長	田倉由男	山の根 会館代表	〃	東浩司	久木 子ども部会
副会長	小林寿志	久木 拠点部会	〃	中村恭良	ハイランド
〃	山崎徳次郎	ハイランド	〃	金子春夫	山の根 減災部会
〃	龍村敦子	山の根 ふれあい部会	〃	門脇茜	山の根 みんなの食堂
〃	龍崎成人	山の根	事務局長	石井達郎	山の根
〃	森田宗一	山の根	書記	森戸久朝	久木
理事	勝山吉久	久木	会計	鈴木為之	山の根
〃	山下隆文	山の根	監査	上泉秀俊	久木
〃	井上亮子	久木まちのこそだち久木	〃	仲西恒雄	山の根
〃	石井和夫	久木			

尚、本総会をもって、松岡富春様、関恵梨子様が理事を退任されました。